1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業アンケートより、説明はわかりやすいと答えた生徒が85%を超えている。授業の様子からも意欲的に学習に取り組もうとする生徒が多い。
- (2) 授業の進度がやや早いと感じている生徒が49%と多い
- (3) 授業内での課題への取り組みは良好であるが、提出課題に関しては提出状況や内容が生徒によって大きく異なる。
- (4) グループ学習の頻度が少ないため、授業アンケートの「4人組学習は役立っているか」に対して、役立っていないと回答した生徒が18%と多い。

2 改善の計画

- (1) 学習面
 - ① 4人組での学習の機会を増やし、他者の意見から学ぶきっかけや主体的に学びに取り組む姿勢を身に付けさせる。
 - ② より多くの生徒が提出課題に取り組めるようにするために、課題の量や内容を工夫する。
 - ③ Monoxer アプリを利用し、理解度の定着を図る。
 - ④ 单元ごとに授業中に疑問に思ったことや追求したいことなどについてのレポート課題を出し、社会科への関心や意欲を引き出す。
- (2) 指導面
 - ① 自身の生活と学習する内容が結びつくような課題設定や授業展開を行う。
 - ② 生徒の様子や理解度に合わせて、進度を調整する。
 - ③ 授業のめあてを提示し、生徒が見通しをもてるようにする。
 - ④ 学習した内容の要点や流れが理解できるような板書にする。

3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る
- (2) 年度末に観点別学習状況の評価を前年度と比較する。